

## 「森林 CO<sub>2</sub> 吸収・生物多様性等調査報告書」の 算定・評価結果に関する独立保証報告書（審査・検証認定書）

2013 年 12 月 6 日

藤田観光株式会社 殿

KPMG あずさサステナビリティ株式会社  
大阪市中央区瓦町 3 丁目 6 番 5 号

代表取締役社長

斎藤 和彦



取締役

松尾 幸喜



### 目的及び対象

当社は、株式会社富村環境事務所（以下、「富村環境事務所」という。）が作成した「藤田観光株式会社 森林 CO<sub>2</sub> 吸収・生物多様性等調査報告書」（平成 25 年 11 月）（以下、「調査報告書」という。）の「生物多様性、森林の管理・経営、森林吸収源の評価証明書」に記載されている「1. 生物多様性の評価」、「2. 森林の管理・経営の評価」及び「3. 森林吸収源の算定」（以下、「評価結果」という。）について審査・検証を行った。

「森づくりにおける森林吸収源・生物多様性等評価基準（一般社団法人フォレストストック協会 平成 25 年 3 月）」（以下、「評価基準」という。）に従って調査報告書を作成する責任は富村環境事務所であり、当社の責任は、独立の立場から調査報告書に対する結論を表明することにある。

### 保証手続

当社は、国際監査・保証基準審議会の国際保証業務基準 (ISAE) 3000「過去財務情報の監査又はレビュー以外の保証業務」（2003 年 12 月改訂）に準拠して検証を実施した。本保証業務は限定的保証業務であり、主として調査報告書の作成に責任を有するもの等に対する質問、分析的手続等の保証手続を通じて実施され、合理的保証業務ほどには高い水準の保証を与えるものではない。

当社の実施した保証手続には以下の手続が含まれる。

- 調査報告書の「2. 生物多様性の評価」における「生物多様性の定性評価指標による評価」および「生物多様性主要定量指標による評価」について、再計算とその根拠資料の閲覧
- 調査報告書の「3. 森林の管理・経営の評価」における「森林の管理・経営の定性評価指標による評価」および「林況主要定量指標による評価」について、再計算とその根拠資料の閲覧
- 調査報告書の「4. 森林吸収源 (CO<sub>2</sub> 吸収量) の算定」における「年間 CO<sub>2</sub> 吸収総量」および「実年間 CO<sub>2</sub> 吸収量」について、再計算とその根拠資料の閲覧

### 結論

上述の保証手続の結果、評価結果（生物多様性の評価 総合得点：70 点、森林の管理・経営の評価 総合得点：72 点、年間 CO<sub>2</sub> 吸収総量：2,485 t-CO<sub>2</sub>/年、実年間 CO<sub>2</sub> 吸収量：2,485t-CO<sub>2</sub>/年）が、すべての重要な点において、評価基準に従って作成されていないと認められる事項は発見されなかった。

なお、調査報告書上で行われている評価・計算の基礎となるデータ（「水準適合度」、「生態・環境指標（調査結果）」、「林況調査総括表」内の調査地点ごとの測定データ、「幹材積成長量」を含む）は富村環境事務所の責任で作成されており、当社は保証対象としていない。

以上